

令和4年度		
氏名	すぎうら かずのり 杉浦 一徳	
生年月日	昭和42年生	
住所	愛知県西尾市	
品目	<p>てん茶</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 摘採期前に茶園を被覆資材で覆った「覆下茶園」から摘採した茶葉を蒸熟し、揉まずに、てん茶炉等で乾燥させて製造。てん茶を茶臼等で微粉末状に製造したものが「抹茶」 ・ 「西尾の抹茶」（地域団体商標）の起源は鎌倉時代に遡り、明治時代に宇治から茶種と製茶技術を導入、大正時代に生産が本格化、現在では稲荷山付近の200haの茶園の大半がてん茶 ・ 遮光栽培で生産された茶葉を三河式碾茶乾燥炉で乾燥して抹茶に加工することにより、鮮やかな深緑色の外観と上品な香り、渋味が少ないのが特徴 ・ 西尾の抹茶を生産農家と販売卸業者が一丸となって世界にPR・輸出 	
技術	<p>効率的施肥、適期摘採等きめ細かな栽培管理による高品質なてん茶栽培</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 肥料メーカー勤務経験を活かした施肥 ・ 新芽開葉状況を見極めた被覆開始や三重被覆の利用 ・ 萌芽の状況や生育ステージに応じたきめ細かい防霜ファン管理 ・ 規模拡大下で、乗用機械摘採や摘採時期分散にもつながる新品種導入等によって適期摘採、品質確保 	
活動状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主力品種「やぶきた」、「さみどり」に加え、作期の異なる新品種（「さえみどり」や「おくみどり」など）の積極的導入、手摘みのほか、棚下用乗用型摘採機の導入を先駆的に行い、規模拡大しながらの適期摘採ときめ細かな栽培管理で品質確保・収量向上を両立してきた ・ 西尾市茶業組合の副組合長として若手生産者へ技術指導 ・ 西尾市で昔から続く学校茶摘みの伝統を守るため、手摘み茶園残し、小中学生の茶摘み勤労体験学習で多くの児童・生徒を受け入れ(地域で最大人数を受け入れ) ・ 栽培面積 4ha（うち、手摘み園 1.5ha） 	
相談に 応じられる 分野・内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ てん茶栽培における被覆資材と被覆方法、被覆時期等の栽培管理 ・ 肥料の効率的な施用方法 ・ 伝統的な茶摘み方法（手摘み） 	
受賞歴等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和元年度 愛知県茶業連合会70周年記念 愛知県茶業連合会長表彰 ・ 令和3年度 愛知県茶品評会 てん茶の部 2等 	
主な役職	<p>平成23年度 西尾製茶機械組合 組合長 平成23～令和2年度 農事組合法人愛知てん茶組合（現（株）愛てん）理事 令和2年度～現在 株式会社愛てん 取締役 平成24～25年度 西尾市茶業クラブ 会長 令和2年度～現在 西尾市茶業組合 副組合長</p>	
HP		



杉浦氏の茶園

